

の好評をいただき、大学生による森林がイドの、これからの発展が期待されています。

今後ともこのような企画を通じて、地域に必要とされる森林管理署としてあり続けたいと考えています。



「この葉っぱがクリ」大学生の話に興味津々

森林技術センターが

新規林業参入者に技術指導

「森林技術センター」九月八・九日の両日、森林技術センター会議室及び下呂市馬瀬物島の山林において「ひだ林業・建設業森づくり協議会」の要請を受け、森林技術センター職員が技術指導による「伐木造材作業の特別教育」が実施されました。

同協議会は、国の地方の元気再生事業の採択を受け、飛騨地域の林業者と建設業者の協働による森林づくりを通して、地域の環境保全と産業振興の推進を図る

ことを目的として平成二十年五月に発足され、同協議会から森林技術センターに対して新規林業参入者（建設業者）を対象としたチェンソーによる伐木造材作業の特別教育に係る技術指導要請があったものです。

研修会には、同協議会会員二十名が参加し、初日は、座学（伐木作業に関する知識、チェンソーに関する知識、振動障害及びその予防に関する知識、チェンソー分解・組立・目立て、関係法令）、二日目は、実技指導（チェンソーの点検及び整備、チェンソーの操作、伐木の方法・かかり木処理）を行い、現地においてチェンソーの操作や目立て、かかり木処理方法等について理解を深め、参加した建設業者は、林業参入に強い意欲を燃やしていました。



技術指導の様子

研修修了者には、中部森林管理局長から「伐木造材特別教育修了証」が交付されました。

森林技術センターでは、こうした森林技術の指導普及を通して地域林業の振興に寄与していくこととしています。

なお、この模様は、「ひだ林業・建設業森づくり協議会」ホームページ <http://nacapsytenet/hidagenki/> にも紹介されています。

各地からのたより

治山・林道安全

パトロールの実施

「東濃署」八月二十六日、治山・林道工事請負事業体の安全確保を図るため、当署と請負事業体が合同で安全パトロールを実施しました。署長はじめ治山・林道の担当者、請負事業体からは安全担当者が参加し、四班に分かれて十箇所の工事施工箇所の安全点検を行いました。

各現場では、現場代理人から工事概要の説明を受けたあと、それぞれの現場に即した安全管理について熱心に質問や意見等が出されました。

パトロール終了後、中津川市内において全体反省会を開催し、パトロールの総括を行いました。今年度は、請負事業体の災害が多発していることもあり、参加



安全パトロールの様子

長野・岐阜グリーンサポート

スタッフ御嶽山森林保全

合同パトロールを実施

者全員が指摘事項を真摯に受け止め、更なる安全対策に役立てていくこととしています。

「木曽署・岐阜署」木曽署・岐阜署は八月二十七日～二十八日にかけて両署が管理する御嶽山で、グリーンサポートスタッフ（森林保護員）、木曽署・岐阜署関係者七名で森林保全合同パトロールを実施しました。

飛騨頂上周辺は、高山植物の女王と言われる「コマクサ」が群生しており、群生地はグリーンロープで進入禁止の対策を行っています。写真撮影などで踏み入れる人もいます。その対策のため、二十七日は、肌寒い曇りの中、山頂に立入禁止看板を設置しました。

二十八日は、晴天の中、登山者のマナー向上を求めるため、パンフレットの配布や高山植物等保護への協力について

の呼びかけを行いました。
今後、両署の連携を密にし、御嶽山における高山植物等の保護、保全活動を行っていくこととしています。

「治山・治水の日」パネル展示

〔東濃署〕昭和七年八月二十六日、中津川市四ツ目川上流において大規模な土石流が発生し、死傷者二十六名、被害家屋一、五〇〇戸という大惨事（四ツ目川災害）を引き起こしました。中津川市は毎年この日を「治山・治水の日」とし、祈念祭と土砂災害防止に向けた関連イベントを実施しています。今年、JR中津川駅前「にぎわいプラザ」において講演会とパネル展示が行われ、多くの市民が訪れました。当署も治山事業の果たす役割を広くPRするため、写真やイラストを使って分かりやすく解説したパネルを展示しました。また、会場には国土交通省による砂防事業のパネルや、中津川市内の小学生を対象として六月に実施した



立入禁止看板を設置する関係者

「あおぞら教室」（当署と国交省による治山・砂防教室）を題材にした小学生手作りの新聞も展示され、訪れた市民は興味深そうに目を通していました。



展示されたパネル

シリーズ 現場最前線

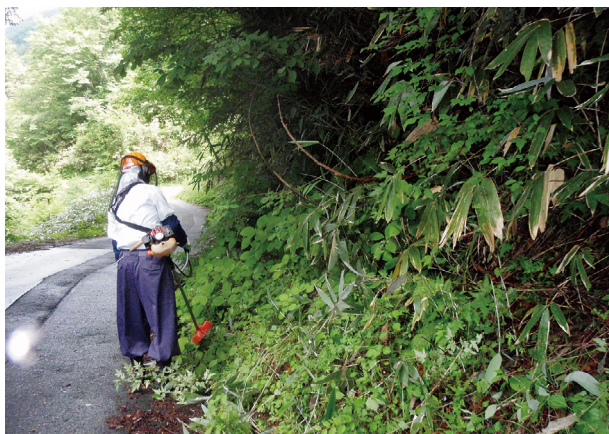
チームの「和」を大切に

東濃森林管理署 恵那森林事務所

恵那森林事務所は、「中津川治山事業所」との合同事務所で中津川市に所在し、中央自動車道中津川インター近くにありま。

国有林は、中央アルプスの最南端である恵那山（日本百名山）の南西側を中心に面積約四、九〇〇鈔、官行造林約二七〇鈔を管理し、中津川市及び恵那市の一部を管轄しています。

恵那班は、恵那山の麓に住む三名を中



「林道安全の日」恵那山林道草刈り

心とした四名体制で、今年度も年間を通して、除伐Ⅱ類・枝打・保育間伐等の森林整備作業を実行しています。この他、立木調査・境界巡検・林道整備と維持・分収育林・歩道修理等と、作業内容も多岐にわたっています。

班長を中心にチームワークもよく、ベテランの「技」を現場作業に十分発揮しています。

どの作業地も急峻で笹覆地と足場が悪く、災害の危険因子が多い厳しい条件のなか、安全作業に心掛けています。特に防蜂網とフェイスガードはセットで一年中取り付けて作業しています。

今後とも、チームの「和」を大切に、無災害を継続し、健康で明るい職場づくりに取り組んでいきたいと考えています。

行事・会議等の予定

- ◎ 国有林野事業労働衛生週間
10月1～7日
- ◎ 名古屋シティフォレスト事業
10月3日 飛騨署管内
10月17日 愛知所管内
10月31日 愛知所管内
- ◎ 森林ふれあい講座
10月3日 愛知所管内
10月24日 東濃署管内
- ◎ 親子森林探検隊
10月3日 東信署管内
- ◎ 局長等会議
10月5～6日 林野庁
- ◎ 林政記者クラブ国有林視察
10月7～8日 中信・南信署管内
- ◎ 国産材循環利用推進功労者感謝状贈呈式
10月14日 長野県上松町
- ◎ 低コスト高効率作業システム現地検討会
10月15～16日 木曽署管内
- ◎ 森林ボランティア・NPO連携推進会議
10月23～24日 中信署管内
- ◎ 事業担当部長会議
10月26～27日 林野庁
- ◎ 指導普及連絡会
10月28～29日 中信署管内

継鹿尾山 (犬山国有林)

「愛知所」愛知県の最北部、全県地図を見ると、少し出っ張りのある部分。木曾川を隔て尾張國と美濃國の境に位置する継鹿尾山。山頂を含め一帯は、犬山国有林で飛騨木曾川国定公園に指定されている景勝地です。

標高二七三メートルの継鹿尾山は、東海の百山に選ばれ低山ながらも様々な山々からなり、その登山道は東海自然歩道として整備され、休日ともなれば多くのハイカーが訪れます。また、西側の麓には約千三百年前に建てられた「八葉連台寺 寂光院」が建っています。この寂光院は別名「もみじ寺」として親しまれ、紅葉の時期にはたくさんのお客で賑わっています。

継鹿尾山へは、登山口からおよそ三〇分で登ることができ、山登りというには物足りないものの、山頂展望台から見下ろす眺めは絶景で、県境を悠々と流れる



国宝「犬山城」

大河（木曾川）は、風景がヨーロッパ中部を流れるライン川に似ていることから「日本ライン」と命名されています。

また、織田信長の叔父である信康が築いた国宝「犬山城」をはじめ、世界にも数少ないサル専門の動物園と遊園地が一体となった「日本モンキーパーク」などの観光施設とともに犬山市街や各務原市街、遠くに岐阜の街や名古屋駅ビル群、霞が無ければ養老や鈴鹿山脈まで見ることがができます。

犬山国有林では、このような場の特性を活かすため、地球温暖化防止対策にかかる森林整備の取組として、眺望伐開を考慮した施業方法を行っており、訪れる人々をはじめ地域住民からも高い評価を得ています。



継鹿尾山山頂からの眺望
中央を流れる日本ラインから右が岐阜県、左が愛知県

「ライン下り」や「犬山鵜飼」などの観光の折に一足のばしてみてはいかがでしょうか。

所在地

愛知県犬山市継鹿尾山（犬山国有林）

◆アクセス（寂光院の登山口まで）

○車でお越しの場合

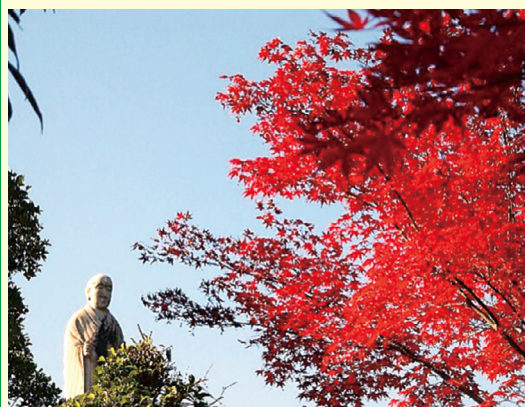
・東名・名神・中央道経由で
小牧東ICから尾張パークウェイ犬山IC出口右へ

・国道四一号线経由で

五郎丸から県道二七号線を犬山方面へ。犬山遊園西にて右折

○公共交通機関をご利用の場合

・名鉄犬山線犬山遊園駅からタクシー五分又は徒歩三〇分。



寂光院周辺の紅葉 1



寂光院周辺の紅葉 2